



## 2020年2月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年11月7日

上場会社名 株式会社MS&Consulting 上場取引所 東  
 コード番号 6555 URL https://www.msandc.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 並木 昭憲  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 日野 輝久 TEL 03(5649)1185  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年2月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	1,368	8.5	147	32.4	146	32.1	102	24.6	104	22.8	102	21.8
2019年3月期第2四半期	1,261	3.6	111	58.9	111	59.8	82	105.8	85	95.8	83	154.3

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	23.39	22.55
2019年3月期第2四半期	18.30	17.48

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年2月期第2四半期	3,792	2,977	2,999	79.1
2019年3月期	4,097	3,317	3,337	81.5

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	-	-	18.00	18.00
2020年2月期	-	-	-	-	-
2020年2月期（予想）	-	-	-	18.50	18.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年2月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,673	-	331	-	331	-	222	-	220	-	47.08

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は2019年6月20日に開催された第7回定時株主総会で事業年度の変更に係る定款の一部変更が承認されたため、2020年2月期は2019年4月1日から2020年2月29日までの11カ月間の決算期間となっております。このため、通期の対前期増減率については、記載しておりません。

当社は2019年5月9日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しておりません。なお、当該自己株式の取得につきましては、2019年7月8日に公表した「自己株式の取得状況及び取得終了並びに自己株式の消却に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期2Q	4,401,700株	2019年3月期	4,678,700株
② 期末自己株式数	2020年2月期2Q	-株	2019年3月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期2Q	4,443,966株	2019年3月期2Q	4,627,074株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料について）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米中貿易戦争などによる世界的な景気後退、国内では消費増税に伴う更なる消費減退が懸念される中、一部で駆け込み需要の影響が見られたものの、消費者態度指数・実質賃金指数は共に低下を続けており、人手不足の深刻化と相まって、当社の主要顧客である外食・小売などの内需型サービス産業では依然として厳しい環境が続いております。

このような環境下、当社グループの基幹サービスである顧客満足度覆面調査「ミステリーショッピングリサーチ(以下、MSRという。)」をはじめとしたミステリーショッピングリサーチ事業は、前第2四半期連結累計期間と比較し、国内の売上収益が9.4%増となりました。

これは、MSRが国内の調査数で微減ながら、国内の売上収益で3.7%増と堅調に推移したことに加え、MSRの活用を総合的にサポートするためのコンサルティング・研修(以下、コンサルという。)が、国内の売上収益で65.3%増となったことによるものです。

中でも、サービス業に特化した従業員満足度調査であるサービスチーム力診断(以下、STARという。)は、調査店舗数が大幅に増加するとともに、収益化が伸展したことで、国内の売上収益で129.2%増となりました。

生産面では、安定的なレポート生産体制の維持と生産コストの抑制に取り組む一方、更なるレポート品質の向上を目的として当社ビジネスを支えるモニターとのリレーション強化に取り組んでおります。

管理面では、中期経営計画(2019年5月9日公表)に基づくSTAR等の商品力強化やシステムセキュリティ強化に伴う賃借料ならびに広告宣伝費等が増加しました。他にも、株主提案への形式的手続きに伴う弁護士報酬や、国際会計基準(IFRS)第16号「リース」におけるリースに関する会計処理の改訂に伴い、当社の会計処理を変更した結果、減価償却費等が増加したことで、前第2四半期連結累計期間と比較し、販売費及び一般管理費は21.8%増となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上収益1,367,969千円(前年同期比8.5%増)、営業利益147,045千円(前年同期比32.4%増)、税引前四半期利益146,271千円(前年同期比32.1%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益103,953千円(前年同期比22.8%増)となりました。

なお、当社グループはミステリーショッピングリサーチ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び現金同等物が374,894千円、営業債権及びその他の債権が13,204千円、有形固定資産が4,198千円減少し、その他の流動資産が18,530千円、その他の無形資産が13,522千円増加、またIFRS第16号「リース」の適用による使用权資産が55,709千円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて304,462千円減少し、3,792,096千円となりました。

負債については、借入金が66,628千円増加、営業債務及びその他の債務が32,863千円減少、またIFRS第16号「リース」の適用によりリース負債が54,387千円増加、未払法人所得税等が42,676千円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて35,457千円増加し、814,613千円となりました。

資本については、自己株式の消却等による資本剰余金の減少379,195千円、配当金支払による利益剰余金の減少84,217千円、四半期利益の計上102,083千円等により、前連結会計年度末に比べて339,918千円減少し、2,977,483千円となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ374,894千円減少し、439,797千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれら要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、43,536千円の収入(前年同期比23,386千円増)となりました。これは、税引前四半期利益の計上146,271千円、減価償却費及び償却費の計上35,209千円、営業債権及びその他の債権の減少額13,173千円、営業債務及びその他の債務の減少額33,348千円、法人所得税の支払額91,558千円等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、26,378千円の支出(前年同期比12,874千円増)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出2,858千円、無形資産の取得による支出23,460千円等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、392,568千円の支出(前年同期比252,282千円増)となりました。これは、自己株式の取得による支出399,964千円、配当金支払による支出84,217千円、長期借入金の返済による支出33,372千円、短期借入れによる収入100,000千円、株式の発行による収入43,685千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月7日の「2020年2月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	814,692	439,797
営業債権及びその他の債権	839,738	826,534
棚卸資産	601	1,171
その他の流動資産	40,151	58,681
流動資産合計	1,695,181	1,326,184
非流動資産		
有形固定資産	41,176	36,978
使用権資産	-	55,709
のれん	2,223,891	2,223,891
その他の無形資産	68,485	82,007
その他の金融資産	48,538	48,598
繰延税金資産	19,285	18,729
非流動資産合計	2,401,376	2,465,912
資産合計	4,096,557	3,792,096
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	58,374	141,638
リース負債	-	39,231
営業債務及びその他の債務	553,370	520,507
未払法人所得税等	103,655	60,979
引当金	9,272	9,272
その他の流動負債	20,739	10,720
流動負債合計	745,410	782,347
非流動負債		
借入金	16,636	-
リース負債	-	15,156
引当金	17,110	17,110
非流動負債合計	33,746	32,266
負債合計	779,156	814,613
資本		
資本金	583,353	605,195
資本剰余金	1,918,254	1,539,060
その他の資本の構成要素	△13,451	△13,648
利益剰余金	848,934	868,671
親会社の所有者に帰属する持分合計	3,337,090	2,999,278
非支配持分	△19,689	△21,795
資本合計	3,317,401	2,977,483
負債及び資本合計	4,096,557	3,792,096

## (2) 要約四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上収益	1,260,616	1,367,969
売上原価	△823,968	△821,273
売上総利益	436,648	546,697
販売費及び一般管理費	△332,484	△405,011
その他の収益	7,050	8,626
その他の費用	△140	△3,267
営業利益	111,074	147,045
金融収益	5	14
金融費用	△389	△788
税引前四半期利益	110,690	146,271
法人所得税費用	△28,738	△44,188
四半期利益	81,952	102,083
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	2,327	-
純損益に振り替えられることのない項目合計	2,327	-
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△828	△433
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△828	△433
税引後その他の包括利益	1,498	△433
四半期包括利益	83,451	101,650
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	84,674	103,953
非支配持分	△2,721	△1,870
四半期利益	81,952	102,083
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	86,692	103,756
非支配持分	△3,241	△2,106
四半期包括利益	83,451	101,650
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	18.30	23.39
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	17.48	22.55

## 第2四半期連結会計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
売上収益	664,742	716,121
売上原価	△405,787	△399,929
売上総利益	258,955	316,191
販売費及び一般管理費	△165,341	△198,103
その他の収益	2,750	6,983
その他の費用	1,330	△193
営業利益	97,693	124,878
金融収益	3	5
金融費用	△175	△445
税引前四半期利益	97,521	124,438
法人所得税費用	△31,783	△39,535
四半期利益	65,739	84,903
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	1,234	-
純損益に振り替えられることのない項目合計	1,234	-
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,390	△252
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△1,390	△252
税引後その他の包括利益	△156	△252
四半期包括利益	65,583	84,651
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	67,383	84,778
非支配持分	△1,644	125
四半期利益	65,739	84,903
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	68,084	84,643
非支配持分	△2,501	8
四半期包括利益	65,583	84,651
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	14.56	19.64
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	13.90	18.93



## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

## 親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2018年4月1日時点の残高	570,154	1,905,055	—	△12,763	534,216	2,996,662	△14,992	2,981,669
会計方針の変更	—	—	—	—	—	—	—	—
修正再表示後の残高	570,154	1,905,055	—	△12,763	534,216	2,996,662	△14,992	2,981,669
四半期利益	—	—	—	—	84,674	84,674	△2,721	81,952
その他の包括利益	—	—	—	2,018	—	2,018	△520	1,498
四半期包括利益合計	—	—	—	2,018	84,674	86,692	△3,241	83,451
新株の発行	369	369	—	—	—	738	—	738
配当金	—	—	—	—	△80,966	△80,966	—	△80,966
所有者との取引額合計	369	369	—	—	△80,966	△80,228	—	△80,228
2018年9月30日時点の残高	570,523	1,905,424	—	△10,745	537,924	3,003,126	△18,234	2,984,892

## 親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2019年4月1日時点の残高	583,353	1,918,254	—	△13,451	848,934	3,337,090	△19,689	3,317,401
会計方針の変更	—	—	—	—	—	—	—	—
修正再表示後の残高	583,353	1,918,254	—	△13,451	848,934	3,337,090	△19,689	3,317,401
四半期利益	—	—	—	—	103,953	103,953	△1,870	102,083
その他の包括利益	—	—	—	△197	—	△197	△236	△433
四半期包括利益合計	—	—	—	△197	103,953	103,756	△2,106	101,650
新株の発行	21,843	21,843	—	—	—	43,685	—	43,685
自己株式の取得	—	△1,073	△399,964	—	—	△401,037	—	△401,037
自己株式の消却	—	△399,964	399,964	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	△84,217	△84,217	—	△84,217
所有者との取引額合計	21,843	△379,195	—	—	△84,217	△441,569	—	△441,569
2019年9月30日時点の残高	605,195	1,539,060	—	△13,648	868,671	2,999,278	△21,795	2,977,483

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	110,690	146,271
減価償却費及び償却費	11,658	35,209
減損損失	-	2,558
金融収益	△5	△14
金融費用	389	788
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,665	△571
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	18,568	13,173
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	34,828	△33,348
その他	△56,700	△28,189
小計	117,764	135,877
利息及び配当金の受取額	5	14
利息の支払額	△411	△798
法人所得税の支払額	△97,208	△91,558
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,149	43,536
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,256	△2,858
無形資産の取得による支出	△276	△23,460
その他	28	△60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,504	△26,378
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△80,966	△84,217
短期借入れによる収入	-	100,000
株式の発行による収入	738	43,685
長期借入金の返済による支出	△60,058	△33,372
自己株式の取得による支出	-	△399,964
リース負債の返済による支出	-	△18,700
財務活動によるキャッシュ・フロー	△140,286	△392,568
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△133,640	△375,410
現金及び現金同等物の期首残高	627,261	814,692
現金及び現金同等物に係る換算差額	△169	515
現金及び現金同等物の四半期末残高	493,452	439,797

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (会計方針の変更)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

## (IFRS第16号「リース」の適用)

当社グループは、IFRS第16号「リース」(2016年1月公表、以下「IFRS第16号」という。)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

当社グループでは、経過措置に従ってIFRS第16号を遡及適用しております。IFRS第16号への移行に際し、契約にリースが含まれているか否かについては、IFRS第16号C3項の実務上の便法を選択し、IAS第17号「リース」

(以下「IAS第17号」という。)及びIFRIC第4号「契約にリースが含まれているか否かの判断」のもとでの判断を引き継いでおります。

当社グループは、過去にIAS第17号を適用してオペレーティング・リースに分類したリースについて、IFRS第16号の適用開始日に、使用権資産及びリース負債を認識しております。当該リース負債は、残存リース料を適用開始日現在の借手の追加借入利率を用いて割り引いた現在価値で測定しております。適用開始日現在の連結財政状態計算書に認識されているリース負債に適用している借手の追加借入利率の加重平均は、0.64%であります。使用権資産は、リース負債の測定額に、前払リース料等を調整した金額で測定しております。

IFRS第16号の適用により、第1四半期連結会計期間の期首において、使用権資産を71,845千円、リース負債を68,584千円計上しております。

当社グループは、IFRS第16号を適用するにあたり、以下の実務上の便法を使用しております。

- ・適用開始日から12か月以内にリース期間が終了するリースについて、短期リースと同じ方法で会計処理
- ・当初直接コストを適用開始日現在の使用権資産の測定から除外
- ・延長又は解約オプションが含まれている契約について、リース期間を算定する際などに、事後的判断を使用

## (セグメント情報)

当社グループは、ミステリーショッピングリサーチ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。